

三鷹市運動器症候群予防事業「ロコモ予防！チャレンジ講座」受けられた方へ 「高齢者におけるロコモーショントレーニングの効果」臨床研究について

日本は超高齢者社会が到来し、要介護・要支援となる高齢者が増加しております。要介護となり生活が自立できなくなる原因疾患の25%は骨折、関節疾患および脊髄損傷など運動器疾患であり、運動器疾患を扱う整形外科医にとって、高齢者が運動機能を維持し生活の自立を保つていただくことは重要な課題のひとつです。日本整形外科学会は骨や関節、筋肉などの運動器の衰えが原因で「立つ」「歩く」といった移動機能が低下し、要介護になる可能性が高い状態をさすロコモティブシンドローム(以下ロコモ)という概念を提唱しその医学的データを蓄積することで、高齢者が自立できる社会を形作ることを目指しています。

予防に関連して、以前の研究から運動がロコモの予防に有益であることが推察されており、日本整形外科学会では高齢者に無理なく行える方法として片脚起立とスクワット運動を組み合わせたロコモーショントレーニング(ロコトレ)を推奨しています。しかしながら本法の客観的な有用性の検証はまだ充分に行われていません。

杏林大学整形外科学教室は三鷹市より「三鷹市運動器症候群予防事業」の業務委託を受け介護予防事業として2017年6月から2020年3月(2020年3月の講座はコロナ感染予防のため中止となりました)まで「ロコモ予防！チャレンジ講座」を開催しました。参加者にはロコトレ指導を行い、3ヵ月毎に計4回運動機能測定及びアンケート採取を行いました。今回、本事業で得られたデータを解析し、ロコトレの有効性の評価を行うことで、ロコモの予防に関する知見の集積を行います。

この研究ではこれまでに行われた事業で集積されたデータを使いますので、今後の参加者の負担はありません。費用の負担もありません。この研究は、杏林大学医学部倫理審査委員会の審査を受け、医学部長の承認を得て行っているものです。

対象

杏林大学整形外科学教室が三鷹市と協同で介護予防事業として2017年6月1日から2020年3月31日まで年4回講座として開催したロコモ予防！チャレンジ講座の参加者より得られたデータを解析対象とします。

参加された方のなかで、この研究に参加したくない方がいらっしゃいましたら、そのことをお申し出ください。その場合、データは使いません。ご自分がこの研究の対象になっているかお知りになりたい方については、お調べしお答えいたします。

研究の目的と方法

事業において回収された運動機能測定結果用紙及びアンケート用紙からデータを抽出し対応表を作成、匿名化した上でデータシートを作成し解析の対象とします。ロコトレの有効性、効果の出やすさの原因、アンケート項目など対象者の主観的な評価と客観的な運動機能の関係などを科学的に分析します。

研究期間

杏林大学医学部医学倫理委員会の承認日から2025年3月31日まで。

予想される利益と不利益

この研究はすでに採取されたデータの調査を行う研究であり、この研究に参加しても参加者に直接の利益はありません。本研究は記録を用いた後ろ向き研究であり、事業終了後に生じる身体的なリスクはありません。予測される不利益として個人情報の流出の可能性は0ではありませんが、そういうことがないようにデータの取り扱いについては、外部に漏れることが無いよう細心の注意を払います。この研究に参加することによる費用の負担や新たな通院は必要ありません。

プライバシーの保護

この研究では、登録の際には参加者の個人情報を全て抹消し、データの調査のときに個人情報が漏れないように、配慮いたします。また、この研究で得られた結果は学会や医学雑誌等に発表されることがありますが、個人情報などが公表されることは一切ありません。

研究組織

・研究責任者

杏林大学医学部整形外科 教授 市村正一

連絡先

〒181-8611 東京都三鷹市新川 6-20-2 杏林大学医学部整形外科学教室

電話 0422-47-5511 (内線) 3622

ファックス 0422-48-4206

E-mail : ichimura@ks.kyorin-u.ac.jp

・研究事務局

杏林大学医学部整形外科 長谷川雅一

連絡先

〒181-8611 東京都三鷹市新川 6-20-2 杏林大学医学部整形外科学教室

電話 0422-47-5511 (内線) 3622

ファックス 0422-48-4206

E-mail : hasemasa@ks.kyorin-u.ac.jp

・研究代表機関

杏林大学医学部整形外科学教室

〒181-8611 東京都三鷹市新川 6-20-2

電話 0422-47-5511 (内線) 3622

ファックス 0422-48-4206

研究への不参加の自由

試料・情報が当該研究に用いられることについて、参加された方にご了承いただけない場

合には、研究対象としません。下記の問い合わせ先までお申出ください。

研究計画書など資料の入手

この研究の研究計画書などの資料が欲しい、またはご覧になりたい場合は、研究に関する窓口にお問い合わせくだされば、対応いたします。

研究に関する窓口

この研究の内容について、わからない言葉や、疑問、質問、自分がこの対象の対象になるかなど、更に詳細な情報をお知りになりたいときには、遠慮せずにいつでもお尋ねください。

・研究事務局

杏林大学医学部整形外科 長谷川雅一

連絡先

〒181-8611 東京都三鷹市新川 6-20-2 杏林大学医学部整形外科学教室

電話 0422-47-5511 (内線) 3622

ファックス 0422-48-4206

E-mail : hasemasa@ks.kyorin-u.ac.jp